

## Press Release

2018.1.18

奥村雄樹、高柳恵里、豊嶋康子

「世界に対する知と信」

2018年2月3日(土) - 2月25日(日) 12:00-19:00 月火祝 休廊

オープニングレセプション: 2月3日(土) 18:00-20:00

\*本展覧会は、駒込倉庫 Komagome SOKO での開催となります。

-

駒込倉庫にて、奥村雄樹、高柳恵里、豊嶋康子による展覧会「世界に対する知と信」を開催いたします。ぜひともご覧くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。

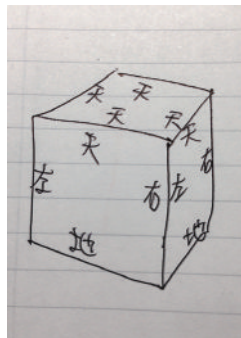
-

「人間は、自分の見たいものしか見ようとしな。信じたいことを喜んで信じる。」

ジュリアス・シーザー『ガリア戦記』より

世界の像に対する知と信の偏向と非同一性は、いつの時代も変わることのない条件であったとしても、それと同時に人間は、見ることも信じることもできないものに恐れや好奇心を抱き、打ち棄てることのできない価値を見出そうとしてきた。そして、主体にとって見たいものや信じたいこと、その集合的な信念や認識そのものが、どのように規定され、構造化され、社会的な成り立ちを持つのかについても、多くの知的実践や学術的研究が積み重ねられてきた。

コンセプチュアルとも称される美術の営為において、このような意味での認識の構造や他者性は、様々な方法によって俎上にあげられてきた。本展覧会の三人の作家は、それぞれに異なるアプローチと方法論の軸を保持しながら、作品の主題、素材、手法などの様々な要素を可変項として、自己と対象、概念、システムなど、自他をめぐる構造それ自体をつかみ取り、ときに切り刻み、提示してきた。世界における知性や信頼をとりまく勢力図が様変わりしつつある今日、この三人三様の歴戦の手立てと見立てが解放となるか、抑圧となるか、それはまだ誰にも分からない。



[左] 奥村雄樹 | Na(me/am) | 2017 | テキスト (英語/オランダ語) | 形態可変 | Convent (ゲント) での展示風景、2018  
courtesy of the artist and MISAKO & ROSEN, Tokyo

[中央] 豊嶋康子 | 天地左右 3D | 2018 | 紙、ボールペン  
[右] 高柳恵里 | 高柳恵里個展「事実」、TALION GALLERY での展示風景、2017 | courtesy of the artist and TALION GALLERY, Tokyo

奥村雄樹 Yuki Okumura

1978年青森県生まれ。東京藝術大学大学院博士後期課程修了。ブリュッセル、およびマーストリヒト在住。

主な個展および二人展に、「Na(me/am)」Convent (ゲント/2018)、「奥村雄樹による高橋尚愛」銀座メゾンエルメスフォーラム (東京/2016)、「な」@KCUA (京都/2016)、「ローマン・オンダックをはかる」MISAKO & ROSEN (東京/2015)、「Shuzo Azuchi Gulliver & Yuki Okumura: Shi」Etablisseent d'en face (ブリュッセル/2014)、「APMoA Project ARCH vol.4:奥村雄樹 善兵衛の目玉(宇宙編)」愛知県美術館 (愛知/2012)など。

主なグループ展に、「Wrapped/Unwrapped」Zoo Galerie (ナント/2017)、「Un-Scene III」WIELS Contemporary Art Centre (ブリュッセル/2015)、「六本木クロッシング2013: アウト・オブ・ダウト」森美術館 (東京/2013)、「MOT アニュアル 2012: 風が吹けば桶屋が儲かる」東京都現代美術館 (東京/2012)など。



奥村雄樹 | 帰ってきたゴードン・マッタ=クラーク | 2017 | HD ビデオ、48分8秒 | アントワープ現代美術館での上映風景、2017  
courtesy of the artist and MISAKO & ROSEN, Tokyo



奥村雄樹 | 多元宇宙の缶詰 | 2013  
ラベルを内側に貼って密封した空の缶詰7個 / HEDAH (マーストリヒト) におけるワークショップで参加者が制作したもの  
Zoo Galerie (ナント) での展示風景、2017 | courtesy of the artist and MISAKO & ROSEN, Tokyo

## 高柳恵里 Eri Takayanagi

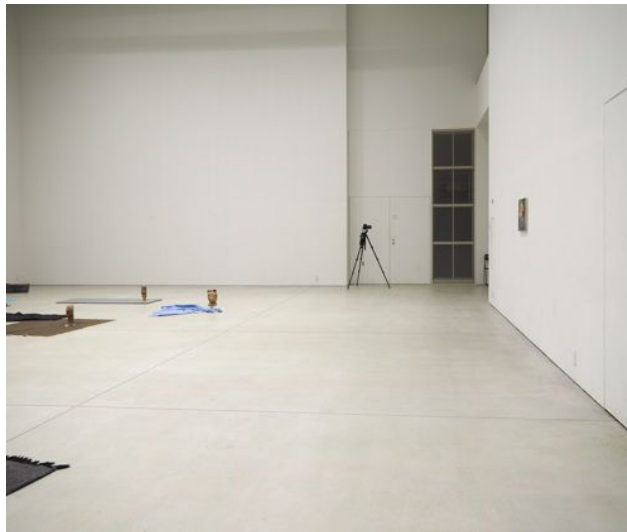
1962年神奈川県生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科修了。東京都在住。

主な個展に、「事実」TALION GALLERY (東京/2017)、switch point(東京/2016)、「油断」上野の森美術館ギャラリー (東京/2014)、「展示」武蔵野美術大学美術資料図書館 民俗資料室ギャラリー (東京/2006)、「近作展28 高柳恵里」国立国際美術館 (大阪/2003)など。

主なグループ展に、「高柳恵里×高山陽介×千葉正也」多摩美術大学八王子キャンパス アートテーク・ギャラリー (東京/2017)、「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画 クロニクル1995-」東京都現代美術館 (東京/2014)、「彫刻と呼ばれる、隠された場所一墓は語るか」武蔵野美術大学美術館 (東京/2013)、「20世紀美術探検-アーティストたちの三つの冒険物語-」国立新美術館 (東京/2007)、「美術館を読み解く-表慶館と現代の美術」東京国立博物館[企画:東京国立近代美術館 (東京/2001)など。



高柳恵里 | DVD レコーダー | 2017 | DVD レコーダー、箱、梱包材 | 37×77×75cm  
courtesy of the artist and TALION GALLERY, Tokyo



高柳恵里 | カメラ | 2016 | カメラ、三脚 | Approx.141×86×95cm  
courtesy of the artist and TALION GALLERY, Tokyo

## 豊嶋康子 Yasuko Toyoshima

1967年埼玉県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科油画専攻修士課程修了。埼玉県在住。

主な個展に、「四角形」Maki Fine Arts(東京/2017)、「豊嶋康子展」ガレリア フィナルテ (名古屋/2017)、「ある順番に並べる」M画廊 (栃木/2016)、「豊嶋康子の多層系ーくマークシートから輪郭まで>」Fuji Xerox Art Space (東京/2008)、「公開制作27 色調補正」府中市美術館 (東京/2005)など。

主なグループ展に、「アッセンブリッジ・ナゴヤ2017」「パノラマ庭園ータイム・シークエンスー」、旧・名古屋税関港寮、(愛知/2017)、「第9回恵比寿映像祭 マルチプルな未来」東京都写真美術館 (東京/2017)、「長い夢をみていたんだ」TALION GALLERY (東京/2013)、「In The Making」Location One (New York, USA/2011)、「美と価値、ポストバブル世代の7人」第3回府中ビエンナーレ・府中市美術館 (東京/2006)など。



豊嶋康子 | パネル\_55 | 2015 | 木材、オスモカラー | 62.5×45.4×3.4cm | Photo: KIOKU Keizo



豊嶋康子 | 鉛筆 | 1996-1999 | Photo: SHIIGI Shizune

—

本展覧会に関しまして貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸いです。掲載用写真の貸出、ご質問などございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

[ 展覧会概要 ]

展覧会名	世界に対する知と信
アーティスト	奥村雄樹、高柳恵里、豊嶋康子
会期	2018年2月3日(土) - 2月25日(日) 12:00-19:00 定休日：月・火・祝日
会場	駒込倉庫   Komagome SOKO 豊島区駒込2-14-2
協力	MISAKO & ROSEN, Maki Fine Arts
企画	上田剛史 (TALION GALLERY)

[ お問い合わせ ]

TALION GALLERY 広報担当

Email: [info@taliongallery.com](mailto:info@taliongallery.com) Tel/Fax: 03-5927-9858

171-0037 東京都豊島区目白2-2-1 B1 URL: [www.taliongallery.com](http://www.taliongallery.com)